

【JPrOS 通信 No.394】 2022. 04.30 【参加・演題登録開始】日本プロテオーム学会 2022 年大会
(JHUPPO 第 20 回大会)のご案内 No.2

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 394 号 ★★★

2022.04.30

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局（info@jhupo.org）にお願いいたします。

■■■ 【参加・演題登録開始】日本プロテオーム学会 2022 年大会のご案内 No.2 ■■■

会期:2022 年 8 月 8 日(月)・9 日(火)・10 日(水)

会場:北里大学相模原キャンパス

参加登録期間 2022 年 4 月 30 日(土) ~ 2022 年 7 月 22 日(金)

演題登録期間 2022 年 4 月 30 日(土) ~ 2022 年 6 月 20 日(月)

JPrOS2022 大会サイト <https://www.jhupo.org/2022/>

大会の特徴

- ・第 20 回特別企画1 第 1 日目ハイブリッド開催(1 日目のみの参加の場合は参加費無料)
特別講演1(田中耕一先生)、教育講演、シンポジウム概要紹介、JPrOS20 年の歩み等
- ・第 20 回特別企画2 Pre-congress webinar Top-Down Proteomics (8 月 7 日 21:30~、参加費無料)
- ・合同セッション 日本蛋白質科学会・日本プロテオーム学会合同セッション
- ・新企画 1 ジョブマッチングカフェ:大学院生、若手研究者を対象とした就職・転職のマッチング
- ・新企画 2 研究スキルアップカフェ:論文執筆、研究費獲得、共同研究の進め方に関する共有・議論

プログラム概要サイト <https://www.jhupo.org/event/2022/program>

日本プロテオーム学会員の皆様

平素より日本プロテオーム学会にご協力いただき誠にありがとうございます。

日本プロテオーム学会 2022 年大会の参加登録ならびに演題登録を開始いたしましたのでお知らせいたします。

昨今、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、オンラインでのコミュニケーションが日常的になってまいりました。本学会においても 2020 年大会、2021 年大会は中止またはオンラインでの開催を余儀なくされました。しかしながら、本来研究に必要な自由な発想や興味は、様々な分野の専門家が、対面で、自由に、熱く議論し、語り合うことが重要であると再認識されてきています。そこで本大会は、HUPO ReConnect にちなみ、“JPrOS ReConnect”を合言葉に北里大学相模原キャンパスにおいて対面で開催することを目指しております。

日本プロテオーム学会(Japanese Proteomics Society, JPrOS)は、日本ヒトプロテオーム機構(JHUPPO)の主宰機関であり、HUPO 及び AOHUPO の日本側対応機関として、2002 年に主にヒトを対象にしたプロテオーム研究の推進を図るために設立されました。そして、JPrOS は、JHUPPO の理念を継承しつつ、ヒトだけでなく種々の生物のプ

ロテオーム研究に携わる研究者が集い、プロテオーム研究や技術開発について議論すると共に、若手研究者を育成することを使命としております。

今年 JHUPO 設立から 20 年目を迎えます。

この間、各種プロテオミクス技術は大きく進歩し、様々な分野におけるプロテオミクスの重要性が高まっています。JHUPO 第 20 回大会である本大会は、多くの皆様がコロナ禍を乗り越え一堂に会し、発展著しいプロテオーム解析の最新技術、基礎生物学から農学・医学への応用、データサイエンス、プロテオミクスがリードする統合オミックス解析、細胞と分子をつなぐ生命システム研究などの幅広い研究成果の発表と議論、そして、ランチョンセミナーや展示ブースを介した最新技術・分析装置などの情報交換を再開する場として開催したいと考えております。

是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日本プロテオーム学会 2022 年大会 大会長
日本プロテオーム学会 会長
北里大学 小寺 義男

【大会組織委員】

大会長

小寺義男(北里大学)[大会運営委員]

副大会長

紀藤圭治(明治大学)[大会運営委員]

松本雅記(新潟大学)[大会運営委員]

実行委員会(50 音順)

足達俊吾(産業技術総合研究所)[大会運営委員]

足立 淳(医薬基盤栄養・健康研究所)

荒川憲昭(国立医薬品食品衛生研究所)

川島祐介(かずさ DNA 研究所)[大会運営委員]

木下英司(広島文教大学)[大会運営委員]

榊原陽一(宮崎大学)

杉山直幸(京都大学)[大会運営委員]

曾川一幸(麻布大学)

武森信暁(愛媛大学)

長塩 亮(北里大学)

肥後大輔(サーモフィッシャーサイエンティフィック)

松井 崇(北里大学)[大会運営委員]

松本俊秀(北里大学)

増田 豪(熊本大学)

若林真樹(国立循環器病研究センター)

プログラム委員(50 音順)

委員長 石濱 泰(京都大学)[大会運営委員]

委員 荒木令江(熊本大学)

岩崎未央(京都大学)

河野 信(富山国際大学)

紀藤圭治(明治大学)

木村弥生(横浜市立大学)
小寺義男(北里大学)
武森信暁(愛媛大学)
田中恒平(田辺三菱製薬株式会社)
増田 豪(熊本大学)
松本 雅記(新潟大学)